

一般国道1号 静清バイパス

平成23年度
開通予定

しずおか しずおか しみず おきつあずま するが まりこにけんや
静岡県静岡市清水区興津東町～同市駿河区丸子二軒家

担当事務所は静岡国道事務所です。ホームページ <http://www.shizukoku.go.jp/>

唐瀬IC～羽鳥IC(L=4.7km)の4車線化区間は平成23年度の開通に向け事業を推進します。

●開通による効果

- ・現在、2車線の静清バイパスは約37,000台/日が利用しており、交通容量が不足しているため4車線立体化を図ります。これにより、主要渋滞ポイントである昭府二丁目交差点、平和二丁目交差点、千代ICの渋滞が解消され、静清バイパス千代田上土 IC～羽鳥IC間は快適な走行が見込まれます。
- ・また、新東名の供用時には、静岡市街地へのアクセス強化と分散導入効果が期待されます。



※現況(唐瀬IC～安倍川)



※現況(安倍川～羽鳥IC)

静岡県	
構造規格	第3種第1級
車線数	4車線
設計速度	80km/h

静清バイパス L=24.2km



1. 現況の課題

- ◆当該地域においては、静岡市街地を中心とした東西交通の結びつきが強いことから、静清都市圏で慢性的な交通渋滞が発生しています。
- ◆昭府地区を立体化する事業(平成19年度暫定2車線立体化開通予定)を推進していますが、賤機山トンネルが1本しかできていないため、千代田上土IC～唐瀬IC間が4車線化されたものの下り線の渋滞が発生している。



昭府地区渋滞状況



唐瀬IC付近渋滞状況

2. 整備効果

- ◆静清バイパスの東西交通に対する定時性が確保されるとともに、市街(中心市街地)へのアクセス性が向上します。
- ◆主要渋滞ポイント 昭府二丁目交差点、平和二丁目交差点、千代ICの渋滞が解消されます。
- ◆国道1号(現道)の交通量の減少、及び市街地から放射状に交差する幹線道路の交通混雑緩和に寄与します。
- ◆大型車交通量が国道1号(現道)から静清バイパスへ転換が見込まれることにより、現道の夜間騒音値の低減が見込まれます。
- ◆新東名供用時に、静岡市街地への分散導入効果が期待されます。



新東名供用時 市街地への分散導入効果例